

(参考) STEP別マイルストーン設定

- ✓ MASP (SCORE・START) や東北大学 (官民イノベーションプログラム) による支援によりスタートアップ組成に至った研究開発課題から得られた経験・ノウハウを分析し、MASP独自のマイルストーン事例を示します。
- ✓ これを参考に設定されるマイルストーンの達成に向け、起業支援人材、事業化推進機関、外部メンター等のモニタリング体制を構築してください。
- ✓ なお、STEP2のマイルストーンについては、ピボットすることが合理的であればPFの委員会等で判断の上、認められます。

	STEP0	STEP1	STEP2
フェーズ	準備～申請	応用研究 (採択後～初期検証)	概念実証～スタートアップ組成
到達目標 レベル	<p>【原則】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の実装に終始するのではなく、スタートアップとして大きな社会的インパクトを与える事業アイデアの一案がある <p>【理想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2, 3件は想定ユーザーにヒアリングを済ませ、存在しないに挑むことがない状態となっている 一緒に案件を推進できる協力者の候補が最低1名特定できている 	<p>【原則】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの注力すべきユーザー層の特定・そのユーザーの抱えている課題について、20件以上ヒアリングを終了し、具体性高く語るができる ユーザーの課題に対して、技術の機能ではなく提供価値の次元で最適なものを特定し、語るができる 案件の協力推進者として1名・1社コミットしてもらった状態にある PSF (Problem Solution Fit) までを目指す <p>【理想】</p> <ul style="list-style-type: none"> モックやプロトタイプが作成済みで、想定ユーザーへの検証をはじめており、LOIを複数件受領している(=完成後すぐ買うユーザーがいる状態) 	<p>【原則】</p> <ul style="list-style-type: none"> モックやプロトタイプが作成済みで、想定ユーザーへの検証をはじめており、LOIを複数件受領している(=できたらすぐ買うユーザーがいる状態) 創業メンバーと目指す会社像・事業内容について具体的に共通理解が図れている <p>【理想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金付きの外部アクセラレーター等に採択され、支援者のネットワークを広く拡大している CEO候補を中心にVCとも複数件面談済み PMF (Product Market Fit) を目指す
事業開発	<ul style="list-style-type: none"> 年間最低でも数十億円規模のマーケット、もしくはグローバルにインパクトを与えるような事業アイデアを保持している 技術としてではなく、スタートアップとして何をやるべきか、そのスタートアップが社会にどういったインパクトを与えるのか検討できている 検証を開始してからどういった先にヒアリングをすべきか社・案件はあたりがついている 	<ul style="list-style-type: none"> 想定ユーザーおよび業界専門家を含めてヒアリングを20件は最低行っている ヒアリングの結果、想定ユーザーの最も困っている課題の5W1Hを明確に記述できる その課題に対して、どのようなプロダクト・サービスであるべきか、明確な像を結んでいる すでにその課題に対してアタックしている企業があれば、事業概要について把握済み 外部ヒッチに複数件参加し、外部からのフィードバックを複数件もらっている 	<ul style="list-style-type: none"> モックやプロトタイプについて最初期verを作成済み 想定ユーザーへの検証を実施済み・中である 想定ユーザーからのLOI/MOUを複数件受領している
技術開発	<p>【スタートアップとしてなにをやるか・どこまで何をスタートアップとして検証すべきか、に基づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終到達地点から必要な研究開発および製品としての開発における暫定計画が中長期で定まっている その計画が最初の検証期間一年での具体的なアクションにブレークダウンされている 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーとの相互作用に基づいて、その課題を解決するのに必要なスペックの検討が済んでいる その要素技術の中でコア技術に関しては基本特許の検討が済んでいる。 事業アイデアに基づいて、特許戦略の検討が済んでいる (理想的に)基本特許については申請も済んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 最初期プロトタイプを踏まえて、必要な技術開発について暫定的な計画が立っている 会社化・調達を見据えた開発計画についても立案済み 基本特許について取得済み
チームアップ	<ul style="list-style-type: none"> 自大学の産学連携の担当支援者と申請内容に関して最低一度は相談済み 可能な限り、外部の人材も活用して申請内容について一度議論をしている 自研究室の卒業生、学会の知り合い等協力者を求める連絡をはじめている 	<ul style="list-style-type: none"> 協力者を探すための外部イベントに複数件参加済み(既にある場合は)メンターを通じて事業開発側の人材を探索済み 自分の周りの人的ネットワークを活用して、事業側の協力者を最低1名は確保している 	<ul style="list-style-type: none"> 本格的なプロトタイプ開発サイクルを回すためのエンジニアリング協力者についても複数名確保できている CEO就任者が確定している 弁護士等、相談が可能な専門家へのネットワークを保持している/問題に対してどこに相談すればいいかチャネルを把握している